

「奨学生制度」創設でさらなる学生支援を 育友会定期総会 新会長に久岡清太氏を選任



▲定期総会であいさつする渡辺会長

03年度育友会定期総会が5月17日、神田キャンパスで開かれた。本部、支部役員はじめ大学教職員など240人が出席、議案承認、新役員を選出し、新会長に久岡清太氏を選任した。このあと徳田賢二経済学部教授が約1時間にわたり「社会知性を育む教育の実践」と題する記念講演を行った。

総会は妹尾价章(ともゆき)副会長の司会で、はじめに渡辺康一郎会長があいさつし「育友会は父母が結束して学生生活への

支援を進めており、他大学からも非常に注目されているものです。今日は皆様のご意見を十分お聞かせください」と呼びかけた。続いて出牛正芳学長が「育友会活動には、大学も一体となり、今夏68会場で開かれる支部懇談会には教職員が出向き、ご父母の皆さんとお話し合いをするつもりです」とあいさつ。学校法人を代表して松浦洋治専務理事は、ご父母の大学への協力に感謝し「今年度の支部懇談会には、多くのご父母のご意見を寄せていただきたい」と述べた。来賓の坂本伴治校友会副会長は「校友会と育友会が手を携え、大学発展に尽くしましょう」とエールを送った。

議事に入り「02年度事業報告」「同収支決算」「同監査報告」を承認。続いて「03年度事業計画(案)」「同収支予算(案)」が計られ、今年度は新たに家計急変学生を対象の「育友会奨励制度」の創設など、学生へのさらなる支援策を提案、全会一致で承認された。続いて本部新役員選出の報告などがあり、満場の拍手で久岡清太新会長体制がスタートした。

久岡新会長は「大学を側面支援して迅速に事業を進め、育友会の存在価値を高めるために尽くしたい」と抱負を述べた。

久岡会長から松浦専務理事に「育友文庫図書目録」を贈呈のあと「育友会奨励賞」第1回受賞者表彰式が行われた(3月号既報)。最後に退任役員を代表して渡辺前会長があいさつし、佐野秀子副会長の閉会のことばで終了した。

新会長の横顔 久岡清太さん



中学から大学までサッカー部に所属して活躍。今も地元サッカー少年団のコーチを引き受け、自身も地元チームで現役選手という根っからのスポーツマン。「とにかく顔の見える会を目指します。支部とも連絡を取り全国に足を運んで、育友会の“のぼり”を立てて各地で開かれるスポーツ大会、イベントを応援したい」という。

学習院中等科、高等科、大学へと進み経済学部で統計学を専攻。東京証券取引所に入り、現在、コンプライアンス部門で不公正取引の監査業務に従事する。めっぼう数字には明るい。01年度に育友会監査役に推され昨年副会長を務めた。

「長男が経営学部の加藤茂夫ゼミでお世話になっています。いま4年次で、就職活動に奮闘中です」と言う。「この1年、3つのS、シンプル、スムーズ、スピーディとプラスもうひとつ、スマイルをキャッチコピーにしていきたい」。

事業計画では、長く低迷が続く経済環境のもとで、父母が結束して学生支援を強めたいと言う。「今年は『育友会奨励生制度』を創設し、種々の事情で家計が急変し、修学が困難になった学生を支援します。昨年新設した育友会奨励賞も年2回、表彰していきます。いろいろな形でこうした学生支援を充実させたい」と考えている。

そのためにも、ご父母の要望、意見を汲み上げることが重要で「今夏の支部懇談会には全員のご父母が顔を見せてほしい」と熱がこもる。ご自身の仕事も忙しい毎日で大

好きな海辺の散歩にもなかなか行けません」という。

住まいはさいたま市浦和区で、夫人とお子さんは男子3人。「両親と2世帯住宅で、また親に面倒かけてます」とはにかみ屋な一面をのぞかせる。49歳。

〔6月15日/ニュース専修4面〕